

“話そう” 摂津のこと

—より良く住み続けられる摂津を目指して—

第 19 回摂津市生涯学習フェスティバル

市民の集い 提言集

摂津市生涯学習フェスティバル実行委員会では、「“話そう” 摂津のこと—より良く住み続けられる摂津を目指して—」をテーマに、令和6年（2024 年）6 月 23 日、摂津市立コミュニティプラザで市民の集いを開催しました。

今回は、「市民である自分たちがどう行動するか？みんなで語って、つながって、『摂津』が進化するためのアクションを一緒に起こしましょう！」をスローガンに、「防災・環境・福祉・老後・子育て・教育」の分野に分かれ、幅広い年齢層の市民ら 60 名以上が活発に語り合いました。

この提言集は、タイトルは「市民の集い 提言集」となっていますが、これまでの「市民の集い」とは異なり、いわゆる「行政への要望」ではなく、「私たちができること」をまとめたものとしています。

この提言集をお目に留めていただいた市民の皆さんには、摂津をより良くするために、私たちと一緒に行動していただくきっかけにさせていただき、あるいは自らアクションを起こすためのヒントにいただければ幸いです。

令和6年（2024年）9 月

摂津市生涯学習フェスティバル実行委員会

テーマ：防災

【摂津の良いところ】

- ・定期的にセミナーや講座が開かれている。
- ・安威川ダムが完成したこと。
- ・防災データが充実している。
- ・津波がこない。

【摂津の悪いところ】

- ・若い人の防災への関心が薄い。
- ・水害リスクがある。
- ・狭隘道路が多い。
- ・元泥地がほとんど。

【私たちができること】

- ・家族で避難先を話し合う。
- ・防災リュックを確保する。
- ・公衆電話の使い方を知る。
- ・SNS で情報を発信する。

テーマ：環境

【摂津の良いところ】

- ・自然が残っていて、川や鳥や植物が癒してくれる街。
- ・人口規模も小さくなく、市民が顔の見える関係にあり、活動しやすい。

【摂津の悪いところ】

- ・若者にとって魅力のない街。
- ・道路や交差点など、まだまだごみが多いところもある。

【私たちができること】

- ・清掃ボランティア活動をしているグループをネットワーク化して、若者にもアピールできるイベントを開催する。

テーマ：福祉
【摂津の良いところ】 ・市のイベント等がたくさんあり、参加できる機会に恵まれている。 ・小さくてコンパクトな街なので市民の声が届きやすい。 ・平坦でコンパクトな街なので、わかりやすい。 ・公民館講座が充実している。
【摂津の悪いところ】 ・空き家が多く不安なことがある。 ・人と人との繋がりが希薄になってきている(子供会・自治会の減少等)。 ・バス停に暑さを避ける場所が少なく椅子等が無いバス停が多い。 ・市民活動の繋がりが、少ない。 ・雨の日等タクシーが少なくタクシー乗り場で、待っても来ない為、高齢者・子供連れ、旅行者等が困っていることが多い。
【私たちができること】 ・イベント等に多くの方が参加できるように機会をとらえて、アピールする。 ・困っている方には、手を差し伸べる。 ・自治会等の活動(一斉清掃日等)を活発にして、地元の仲間づくりを積極的に進める。 ・自治会行事などでも、市に対する要望等を聞き取る機会を設ける。 ・地元の広報板を見直して、新しい情報になるよう自治会役員に伝える。 ・地域で高齢者(特に一人暮らし)に声掛けを積極的にする。 ・保育料などわからない時は、知人に尋ねるのではなく、直接保育教育課に確認するようにすすめる(世帯毎に違う場合があるため)。

テーマ：老後
【摂津の良いところ】 ・地域のことを考えるイベントが開催されている。 ・小さな市域に駅が複数あり、便利。 ・顔が見える人付き合い。 ・人情味がある、人が温かい。 ・高齢者に優しい。

【摂津の悪いところ】

- ・ 外食できるところが少ない。
- ・ オシャレなお店が少ない。
- ・ バスの本数が少ない。
- ・ 関西ではなく、大阪住まいの友人に「摂津ってどこ？」と質問を受ける。
- ・ 住民への対応に課題あり。

【私たちができること】

- ・ 高齢者に使いやすいタクシー（自主的に運営する）。
- ・ 市民相談員を増やす（傾聴ボランティア等）。
- ・ 居住支援に取り組む。
- ・ 養老から享老へ考え方をシフトする。

テーマ：子育て

【摂津の良いところ】

- ・ 子ども食堂が増えた。
- ・ 赤ちゃん連れで参加できるイベントがたくさんある。
- ・ 顔が見える人付き合い、気軽に付き合える。
- ・ 公園や子育てひろばがたくさんある。
- ・ 小学生のランドセル支給で祖父母の負担が少なくて助かる。

【摂津の悪いところ】

- ・ 子連れで遊べる施設が少ない。
- ・ アスレチック等大型遊具が少ない。
- ・ バスの本数が少ない。
- ・ 頼れる人が身近にいないと孤独になってしまう。
- ・ 学童に預けられない微妙な就労時間の場合困る。
- ・ 不登校の児童生徒の行き場がない。
- ・ 一時預かりが足りていない。
- ・ 鳥飼は子育て世帯減っている、子どもが少ない。

【私たちができること】

- 公園でイベントを実施する(自主的にプレイパーク開催等)。
- 子育て世代の方やお子さんと話す機会を増やす。
- 0～100 歳まで楽しめるイベント開催する。
- 高齢者がしんどい畑仕事をイベント化する。
- 学童以外の放課後の居場所を作る。

テーマ：教育

【摂津の良いところ】

- 摂津のまちはコンパクトなので、教育のことでも気軽に相談できる。
- 幅広い活動をしている人が多い。
- ICT 設備が充実し、支援級、通級などの数が多い。
- 主体性を育てようとしている。

【摂津の悪いところ】

- 校舎が古く、教育程度が少し低いと言われている。
- 学校にいる大人の数少なく、教育の質の違い、学校でも違う。
- 主体性を育てようとしているが、育っていない。
- PTA、子ども会、自治会等の活動はペナルティと考える人が多く、なり手がなくて、地域の交流が減り、子ども会も減っている。
- 教育イベントの日程が合わず、参加しづらい。

【私たちができること】

- ボランティア（見守りなど）、PTA 活動、自治会の活動に参加する。
- 地域と学校のつながりをもっと根強くし、学校外から声をあげる。
- 子ども向け（大人可）ロジカルシンキングのワークショップを開催する。
- 子どもの時からの体力（免疫）づくりに取り組む。
- 子どもの居場所を作る。